

講義名	卒業研究
講義コード	44100
担当教員	森津 秀夫
開講期・曜日・時限	通年 木曜日 4時限
備考	

ゼミ
学部ゼミ
学部
経済学部
学科
演習名
森津秀夫ゼミナール（交通計画）

概要説明
<p>「交通」がゼミのメインテーマです。</p> <p>あなたは、今日1日をどのように過ごしましたか。あるいはどのように過ごす予定ですか。自宅から1歩も出ていないという人もいるでしょうが、ほとんどの人は大学へ出かけたり遊びに行ったり、あるいはアルバイトで働いてきたりしたことでしょう。大学でこれを読んでいる人が最も多いでしょう。人や物の移動が交通なのですが、自宅から外へ出た人は移動したのであり、交通を発生させたということになります。家に閉じこもっている人でも、食べ物をはじめとした身の回りのものはどこからか運ばれてきたものです。物の輸送はまた、交通を発生させているのです。一方では近くの道路を走るトラックがうるさいという人がいるかもしれませんが、それは交通騒音問題です。</p> <p>このように、私たちは交通と関係なく生活することはできません。そこで、このゼミでは交通や、それに関連深いまちづくりに関する研究を行います。交通渋滞のメカニズム、環境にやさしい交通システム、コミュニティバス、LRT、スペシャルトランスポート、モーダルシフト、自動運転、ETCをはじめとするITS、ICCOAにPiTaPa、・・・交通に関係するテーマはつきません。興味あるテーマを選び、交通に対する理解を深めましょう。</p> <p>卒業研究（4年前期・後期） 研究テーマに関する文献や資料の調査、必要な場合にはデータの収集と分析を行います。それをもとに後期には卒業論文を書き上げます。1月には卒業論文の発表会でゼミを締めくくります。</p>

学位
工学博士

教員よりの要望
<p>ゼミで学習するテーマは、交通あるいはまちづくりに何らかの関連のある範囲において、各自で決めてもらいます。鉄道、バス、自動車など交通に関心のある人、あるいは広くまちづくりに関心のある人を希望します。</p> <p>ゼミでの最終目標は卒業論文の執筆です。卒業論文は、大学で「自分で調べ、考え、まとめる」力を身につけた証です。将来、「大学でどんな卒論を書いたの？」と自分の子供に聞かれたときに堂々と見せることができるものを残しましょう。</p>

教員英字氏名
Moritsu Hideo
研究室
研究棟 2705研究室
最終学歴
神戸大学大学院工学研究科修士課程

主な研究活動・社会活動・研究業績
<p>「交通シミュレーションシステムの開発」、「災害時の交通・輸送対策に関する研究」、「地域における公共交通のあり方に関する研究」などを研究テーマとしています。交通シミュレーションに関する研究に最も力を入れており、VISITOK (Visual Simulator for Transportation System Originated in Kobe) と称する交通シミュレータを開発しています。地図や航空写真を背景に、道路ネットワークにおける個々の車両の動きをミクロにアニメーション表示できることを特徴とするものです。説得力に優れたこのシミュレータは実務に供されて高い評価を受けています。その機能の拡充や様々な問題への応用などを手がけています。</p>

主な卒業論文のタイトル
<ul style="list-style-type: none"> ・有料道路の料金体系に関する考察 ・シンガポールと日本の交通政策の比較 ・自動車による地球温暖化とその対策について ・道路交通情報システムの現状と課題 ・兵庫県におけるコミュニティバスの事例研究 ・自動車の廃棄問題とリサイクル

趣味・特技
<p>流通科学大学にはありませんが、高校と大学では鉄道研究会に所属し、SL（蒸気機関車）の写真撮影に出かけたり、いろいろな切符を集めたりしていました。プログラミングは研究のための道具ですが、趣味・特技に近いかもしれません。</p>

所属
経済学部 経済情報学科
所属学会
土木学会、日本都市計画学会、環境科学会、交通工学研究会

専門分野
交通計画、都市計画

選考方法
<p>明るく、ゼミ活動に積極的に取り組む意欲のある人を優先します。ゼミの選択を誤らないために個別ガイダンスを必ず受けてください。ゼミの志望動機やゼミで何を学びたいと考えているかを聞きます。</p>

担当科目
情報倫理、シミュレーション、地域総合政策論、地域交通政策

備考

評価方法
演習参加度（出席等） 50% / 研究成果など 50%（卒業論文の作成が必要です）